

今、学校園がおもしろい NO. 15

2014年12月19日

発行：泉佐野市教育委員会教育部

「地域のあたたかいつながり」

～長南中学校区～



11月9日(日)『ふれあい祭』が長南小学校でありました。今年で19回目を迎え、地域の行事として定着しており、雨が降る中の開催となりましたが、たくさんの参加者が集まってきました。

11時の開会宣言後にたくさんのコーナーで体験や販売がはじまりました。中学生が企画している「わたがし」「茶道」「ストラックアウト」などもありました。また、小学生

のかわいらしい店員さんが、フリーマーケットの呼び込みをしている姿もありました。食べ物コーナーはもちろんのこと、各団体の体験コーナーも順番待ちとなる状態でした。

12時から体育館で舞台イベントが、地域で活動しているよさこい踊りの連合チームの賑やかな踊りで幕を開けました。後半ではステージから降りて踊ると、見ていたちびっこも一緒に踊りだすという微笑ましい場面もありました。その後、小学生や中学生のダンス発表もありました。

終わりの時間が近づいても、各コーナーを楽しんでいる方が多く最後まで大盛り上がりのふれあい祭となりました。それもひとえに地域の方々が「子どもたちに楽しんでほしい」というあたたかい思いでつながっているからこそだと感じました。来年は20回と節目の年となります。このあたたかい思い来年につなげて、さらに地域のつながりが深まったイベントとなることだと思います。



「新池ふれあいフェスタ～チルドレンズリング～開催」

～新池中学校区～

11月9日(日)、『新池ふれあいフェスタ～チルドレンズリング』が新池中学校で盛大に開催されました。

当日は、あいにくの空模様でしたが、たくさんの地域の方々や子どもたちの参加がありました。

フェスタは、オープニングから始まりました。新池中学校吹奏楽部による演奏、コーラス部による合唱、そして新池中学校有志によるソーランの発表がありました。迫力があり息がぴったりであった演奏、ハーモニーがとても心地よい合唱や子どもたちの気持ちがひしひしと伝わってくるソーランに、会場の体育館は大きな拍手に包まれました。あわせて、新池中学校美術部が作成した『新池ふれあいフェスタ～チルドレンズリング～』の横断幕も披露されました。とても素晴らしいオープニングになりました。

オープニングの後、各団体によるコーナーの催しが始まりました。焼きそばやフライドポテトなどのフードコーナー、工作や人形劇などのゲームコーナーが催されました。今年は、新池中学校吹奏楽部の生演奏を聴きながら飲み物が飲める「ジュースボックス」コーナーが設けられ、子どもたちの主体的な参加が広がりました。各コーナーとも大盛況で、楽しいフェスタとなりました。

これからも子どもたちを見守る各団体のつながり「チルドレンズリング」を大切に、校区全体で子どもたちの育成に取り組んでいただければと思います。



「笑ってつながって」

～第三中学校区～

11月23日(日)『和い輪いまつり』が北中小学校で開催されました。オープニングセレモニーでは、北中オールスターズに加えて北中小オリジナルゆるキャラ「ふわりん」も登場し、体育館中に笑顔が広がりました。各団体のコーナーも食べ物から体験まで充実しており、小さい子どもやその保護者の親子で工作に励む姿がありました。また、今回は7月にモンゴルを訪れた中学生からの発表もあり、モンゴルでの体験や自然の大きさなどについての感想が中学生の視点で語られました。

まつりの終盤には林家染太さんの落語講演がありました。囃の間には、見ていた小学生を舞台にあげて、南京玉すだれやうどんをすする音などちょっとした弟子入り体験もありました。講演の最後には染太さん自身のいじめの体験の話やどうやって克服したのかの話があり、命の大切さについてのメッセージがありました。たくさんの人が集まって、笑って、つながって、「和い輪い」できた秋の日となりました。



